



スケジュール Astra Automation

NetApp
September 02, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/astra-automation-2310/reference/schedule_endpoints.html on September 02, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

スケジュール	1
Astra API (ACC) スケジュールエンドポイント	1
アプリの新しいスケジュールを作成する	1
パラメータ	1
要求の本文	1
応答	6
応答	11
応答	12
応答	12
応答	13
エラー	13
用語の意味	14
アプリのスケジュールを一覧表示する	15
パラメータ	15
応答	15
応答	16
応答	17
応答	17
エラー	18
用語の意味	18
スケジュールを取得する	24
パラメータ	24
応答	24
応答	30
応答	30
応答	31
エラー	31
用語の意味	32
スケジュールを変更する	32
パラメータ	33
要求の本文	33
応答	38
応答	38
応答	38
応答	39
応答	40
エラー	40
用語の意味	41
スケジュールを削除する	41

パラメータ	42
応答	42
応答	42
応答	43
応答	43
エラー	44
用語の意味	44

スケジュール

Astra API（ACC）スケジュールエンドポイント

Schedule APIを使用すると、さまざまなスケジュールされたデータ保護処理を定義できます。

アプリの新しいスケジュールを作成する

POST /accounts/{account_id}/k8s/v1/apps/{app_id}/schedules

作成する Schedule API リソースの希望値を示します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path（パス）	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}
app_id	string	path（パス）	True	含まれるアプリリソースのID

要求の本文

作成する Schedule API リソースの希望値を示します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-schedule"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	スケジュール名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
有効	string	False	スケジュールが有効かどうかを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - スケジュールが有効です • 「false」 - スケジュールは有効ではありません。指定しない場合、デフォルト値は「true」です。
粒度	string	True	スケジュールの粒度を示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「毎時」 • "日次" • "週次" • "月次" • "カスタム"
分	string	False	スケジュールを実行する時刻（0～59分）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 定義された正規表現は次のとおりです： ："[^][0-9]"
[1-5][0-9]\$" このフィールドは、粒度が「hourly」、「daily」、「weekly」、または「monthly」に設定されている場合に存在します。カスタムスケジュールの場合、値「0」が返されます。	時間	string	False

Name	を入力します	必須	説明
スケジュールを実行する時刻（0～23時）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^[0-9]</code>	<code>[1][0-9]</code>	<code>[2][0-3]\$</code> このフィールドは、粒度が「日次」、「週次」、または「月次」に設定されている場合に存在します。	dayOfWeek
string	False	スケジュールを実行する曜日（0～7）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は<code>"^[0-7]\$</code>です。このフィールドは、粒度が「weekly」に設定されている場合にのみ存在します。	dayOfMonth
string	False	スケジュールを実行する月の日（1～31）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^[1-9]</code>	<code>[1-2][0-9]</code>
<code>[3][0-1]\$</code> このフィールドは、粒度が「monthly」に設定されている場合にのみ存在します。	recurrenceRule	string	False

Name	を入力します	必須	説明
RFC-5545 セクション 3.8.5.3 を含む JSON 文字列。再帰ルール。DTSTART パラメータについては、UTC タイムスタンプ（末尾に「Z」が付く）のみがサポートされ、現在時刻より前のタイムスタンプのみがサポートされます。RECUR ルールパーツについては、「FREQ」と「INTERVAL」のみがサポートされています。FREQ ルールの部分では、「MINUTELY」と「HOURLY」のみがサポートされる値です。このフィールドは、粒度が「custom」に設定されている場合にのみ表示されます。	snapshotRetention	string	True
保持するスナップショットの数を示す正の数値を含むJSON文字列。ゼロは、バックアップ取得後にスナップショットを削除する必要があることを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • 定義された正規表現は次のとおりです： "^(0	([1-9][0-9]*)\$"	backupRetention	string

Name	を入力します	必須	説明
True	保持するバックアップの数 を示す正の数値を含むJSON文字列。ゼロは、バックアップを作成しないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^(0</code>	<code>([1-9][0-9]*)\$"</code>	bucketID
string	False	バックアップの作成時に保存する場所を示す、オプションのバケットIDを含むJSON文字列。指定がない場合は、システムが選択したバケットが使用されます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠	レプリケート
string	False	スケジュールが各スナップショットのAppMirrorレプリケーションをトリガーするかどうかを示すJSON文字列。アプリケーションにAppMirror関係が定義されている場合にのみ有効になります。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - スケジュールがAppMirrorレプリケーションをトリガーします • 「false」 - スケジュールはAppMirrorレプリケーションをトリガーしません。指定しない場合、デフォルト値は「false」です。	メタデータ

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-schedule",
  "version": "1.3",
  "name": "Backup Schedule",
  "enabled": "true",
  "granularity": "monthly",
  "minute": "0",
  "hour": "0",
  "dayOfMonth": "1",
  "snapshotRetention": "12",
  "backupRetention": "12"
}
```

応答

Status: 201, Returns the newly created schedule resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-schedule"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	スケジュール名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
有効	string	True	スケジュールが有効かどうかを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - スケジュールが有効です • 「false」 - スケジュールは有効ではありません。指定しない場合、デフォルト値は「true」です。
粒度	string	True	スケジュールの粒度を示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「毎時」 • "日次" • "週次" • "月次" • "カスタム"
分	string	True	スケジュールを実行する時刻（0～59分）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>^[0-9]</code>
[1-5][0-9]\$" このフィールドは、粒度が「hourly」、「daily」、「weekly」、または「monthly」に設定されている場合に存在します。カスタムスケジュールの場合、値「0」が返されます。	時間	string	False

Name	を入力します	必須	説明
スケジュールを実行する時刻（0～23時）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^[0-9]</code>	[1][0-9]	[2][0-3]\$" このフィールドは、粒度が「日次」、「週次」、または「月次」に設定されている場合に存在します。	dayOfWeek
string	False	スケジュールを実行する曜日（0～7）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は<code>"^[0-7]\$" </code>です。このフィールドは、粒度が「weekly」に設定されている場合にのみ存在します。	dayOfMonth
string	False	スケジュールを実行する月の日（1～31）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^[1-9]</code>	[1-2][0-9]
[3][0-1]\$" このフィールドは、粒度が「monthly」に設定されている場合にのみ存在します。	recurrenceRule	string	False

Name	を入力します	必須	説明
RFC-5545 セクション 3.8.5.3 を含む JSON 文字列。再帰ルール。DTSTART パラメータについては、UTC タイムスタンプ（末尾に「Z」が付く）のみがサポートされ、現在時刻より前のタイムスタンプのみがサポートされます。RECUR ルールパーツについては、「FREQ」と「INTERVAL」のみがサポートされています。FREQ ルールの部分では、「MINUTELY」と「HOURLY」のみがサポートされる値です。このフィールドは、粒度が「custom」に設定されている場合にのみ表示されます。	snapshotRetention	string	True
保持するスナップショットの数を示す正の数値を含むJSON文字列。ゼロは、バックアップ取得後にスナップショットを削除する必要があることを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • 定義された正規表現は次のとおりです： "^(0	([1-9][0-9]*)\$"	backupRetention	string

Name	を入力します	必須	説明
True	保持するバックアップの数 を示す正の数値を含むJSON文字列。ゼロは、バックアップを作成しないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^(0</code>	<code>([1-9][0-9]*)\$"</code>	bucketID
string	False	バックアップの作成時に保存する場所を示す、オプションのバケットIDを含むJSON文字列。指定がない場合は、システムが選択したバケットが使用されます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠	レプリケート
string	False	スケジュールが各スナップショットのAppMirrorレプリケーションをトリガーするかどうかを示すJSON文字列。アプリケーションにAppMirror関係が定義されている場合にのみ有効になります。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - スケジュールがAppMirrorレプリケーションをトリガーします • 「false」 - スケジュールはAppMirrorレプリケーションをトリガーしません。指定しない場合、デフォルト値は「false」です。	メタデータ

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-schedule",
  "version": "1.3",
  "id": "49cbc480-5f7d-51e2-8f30-52b9a83a03b1",
  "name": "Backup Schedule",
  "enabled": "true",
  "granularity": "monthly",
  "minute": "0",
  "hour": "0",
  "dayOfMonth": "1",
  "snapshotRetention": "12",
  "backupRetention": "12",
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}
```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
}
```

```
"status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
}
```

```
"detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
"status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

アプリのスケジュールを一覧表示する

GET /accounts/{account_id}/k8s/v1/apps/{app_id}/schedules

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: <code>{{.Account}}</code>
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。 URLの例 : <code>"include=id"</code> 、 <code>"include=id,name"</code> OpenAPI の例: <code>"id"</code> • 例: <code>id</code> 、 <code>name</code> 、 <code>granularity</code>
制限 (Limit)	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。 URLの例: <code>"limit=2"</code> OpenAPI の例: <code>"2"</code>

応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか : "schedule_1.3_get_response_body"、配列[]]	True	
メタデータ	"type_astra_metadata_list"	True	

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-schedules",
  "version": "1.3",
  "items": [
    [
      "0d6d20d6-8b7c-498a-b57b-5734210c209a",
      "Backup Schedule",
      "monthly"
    ]
  ],
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}
```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
```

```
"title": "Missing bearer token",
"detail": "The request is missing the required bearer token.",
"status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

schedule_1.3_get_response_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-schedule"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	True	スケジュール名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
有効	string	True	スケジュールが有効かどうかを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - スケジュールが有効です • 「false」 - スケジュールは有効ではありません。指定しない場合、デフォルト値は「true」です。
粒度	string	True	スケジュールの粒度を示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「毎時」 • "日次" • "週次" • "月次" • "カスタム"
分	string	True	スケジュールを実行する時刻（0～59分）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^[0-9]</code>
[1-5][0-9]\$" このフィールドは、粒度が「hourly」、「daily」、「weekly」、または「monthly」に設定されている場合に存在します。カスタムスケジュールの場合、値「0」が返されます。	時間	string	False

Name	を入力します	必須	説明
スケジュールを実行する時刻（0～23時）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^[0-9]</code>	[1][0-9]	[2][0-3]\$" このフィールドは、粒度が「日次」、「週次」、または「月次」に設定されている場合に存在します。	dayOfWeek
string	False	スケジュールを実行する曜日（0～7）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は<code>"^[0-7]\$"</code>です。このフィールドは、粒度が「weekly」に設定されている場合にのみ存在します。	dayOfMonth
string	False	スケジュールを実行する月の日（1～31）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^[1-9]</code>	[1-2][0-9]
[3][0-1]\$" このフィールドは、粒度が「monthly」に設定されている場合にのみ存在します。	recurrenceRule	string	False

Name	を入力します	必須	説明
RFC-5545 セクション 3.8.5.3 を含む JSON 文字列。再帰ルール。DTSTART パラメータについては、UTC タイムスタンプ（末尾に「Z」が付く）のみがサポートされ、現在時刻より前のタイムスタンプのみがサポートされます。RECUR ルールパーツについては、「FREQ」と「INTERVAL」のみがサポートされています。FREQ ルールの部分では、「MINUTELY」と「HOURLY」のみがサポートされる値です。このフィールドは、粒度が「custom」に設定されている場合にのみ表示されます。	snapshotRetention	string	True
保持するスナップショットの数を示す正の数値を含むJSON文字列。ゼロは、バックアップ取得後にスナップショットを削除する必要があることを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^(0</code>	([1-9][0-9]*)\$"	backupRetention	string

Name	を入力します	必須	説明
True	保持するバックアップの数 を示す正の数値を含むJSON文字列。ゼロは、バックアップを作成しないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • 定義された正規表現は次のとおりです： ："[^](0	([1-9][0-9]*)\$"	bucketID
string	False	バックアップの作成時に保存する場所を示す、オプションのバケットIDを含むJSON文字列。指定がない場合は、システムが選択したバケットが使用されます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠	レプリケート
string	False	スケジュールが各スナップショットのAppMirrorレプリケーションをトリガーするかどうかを示すJSON文字列。アプリケーションにAppMirror関係が定義されている場合にのみ有効になります。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - スケジュールがAppMirrorレプリケーションをトリガーします • 「false」 - スケジュールはAppMirrorレプリケーションをトリガーしません。指定しない場合、デフォルト値は「false」です。	メタデータ

type_astra_metadata_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

スケジュールを取得する

GET /accounts/{account_id}/k8s/v1/apps/{app_id}/schedules/{schedule_id}

JSONレスポンスボディに格納されたSchedule APIリソースを返します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID
schedule_id	string	path (パス)	True	リストするスケジュールコレクションのID

応答

Status: 200, Returns the stored Schedule API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-schedule"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	True	スケジュール名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
有効	string	True	スケジュールが有効かどうかを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - スケジュールが有効です • 「false」 - スケジュールは有効ではありません。指定しない場合、デフォルト値は「true」です。

Name	を入力します	必須	説明
粒度	string	True	スケジュールの粒度を示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ・「毎時」 ・"日次" ・"週次" ・"月次" ・"カスタム"
分	string	True	スケジュールを実行する時刻（0～59分）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ・ 定義された正規表現は次のとおりです： "^[0-9]"
[1-5][0-9]\$" このフィールドは、粒度が「hourly」、「daily」、「weekly」、または「monthly」に設定されている場合に存在します。カスタムスケジュールの場合、値「0」が返されます。	時間	string	False
スケジュールを実行する時刻（0～23時）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ・ 定義された正規表現は次のとおりです： "^[0-9]"	[1][0-9]	[2][0-3]\$" このフィールドは、粒度が「日次」、「週次」、または「月次」に設定されている場合に存在します。	dayOfWeek

Name	を入力します	必須	説明
string	False	スケジュールを実行する曜日（0～7）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は「<code>^[0-7]\$</code>」です。このフィールドは、粒度が「weekly」に設定されている場合にのみ存在します。	dayOfMonth
string	False	スケジュールを実行する月の日（1～31）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^[1-9]</code>	[1-2][0-9]
[3][0-1]\$" このフィールドは、粒度が「monthly」に設定されている場合にのみ存在します。	recurrenceRule	string	False
RFC-5545 セクション 3.8.5.3 を含む JSON 文字列。再帰ルール。DTSTART パラメータについては、UTC タイムスタンプ（末尾に「Z」が付く）のみがサポートされ、現在時刻より前のタイムスタンプのみがサポートされます。RECUR ルールパーツについては、「FREQ」と「INTERVAL」のみがサポートされています。FREQ ルールの部分では、「MINUTELY」と「HOURLY」のみがサポートされる値です。このフィールドは、粒度が「custom」に設定されている場合にのみ表示されます。	snapshotRetention	string	True

Name	を入力します	必須	説明
保持するスナップショットの数を示す正の数値を含むJSON文字列。ゼロは、バックアップ取得後にスナップショットを削除する必要があることを示します。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：63 - 定義された正規表現は次のとおりです： ："^(0	([1-9][0-9]*)\$"	backupRetention	string
True	保持するバックアップの数を示す正の数値を含むJSON文字列。ゼロは、バックアップを作成しないことを示します。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：63 - 定義された正規表現は次のとおりです： ："^(0	([1-9][0-9]*)\$"	bucketID
string	False	バックアップの作成時に保存する場所を示す、オプションのバケットIDを含むJSON文字列。指定がない場合は、システムが選択したバケットが使用されます。定義された値は次のとおりです： Astra識別子スキーマに準拠	レプリケート

Name	を入力します	必須	説明
string	False	スケジュールが各スナップショットのAppMirrorレプリケーションをトリガーするかどうかを示すJSON文字列。アプリケーションにAppMirror関係が定義されている場合にのみ有効になります。定義された値は次のとおりです： 「true」 - スケジュールがAppMirrorレプリケーションをトリガーします 「false」 - スケジュールはAppMirrorレプリケーションをトリガーしません。指定しない場合、デフォルト値は「false」です。	メタデータ

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-schedule",
  "version": "1.3",
  "id": "49cbc480-5f7d-51e2-8f30-52b9a83a03b1",
  "name": "Backup Schedule",
  "enabled": "true",
  "granularity": "monthly",
  "minute": "0",
  "hour": "0",
  "dayOfMonth": "1",
  "snapshotRetention": "12",
  "backupRetention": "12",
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}
```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

```
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
}
```

```
"status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

スケジュールを変更する

PUT /accounts/{account_id}/k8s/v1/apps/{app_id}/schedules/{schedule_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID
schedule_id	string	path (パス)	True	リストするスケジュールコレクションのID

要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-schedule"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"
ID	string	False	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	False	スケジュール名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
有効	string	False	スケジュールが有効かどうかを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - スケジュールが有効です • 「false」 - スケジュールは有効ではありません。指定しない場合、デフォルト値は「true」です。
粒度	string	False	スケジュールの粒度を示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「毎時」 • "日次" • "週次" • "月次" • "カスタム"
分	string	False	スケジュールを実行する時刻（0～59分）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 定義された正規表現は次のとおりです： ："^[0-9]"
[1-5][0-9]\$" このフィールドは、粒度が「hourly」、「daily」、「weekly」、または「monthly」に設定されている場合に存在します。カスタムスケジュールの場合、値「0」が返されます。	時間	string	False

Name	を入力します	必須	説明
スケジュールを実行する時刻（0～23時）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^[0-9]</code>	<code>[1][0-9]</code>	<code>[2][0-3]\$</code> このフィールドは、粒度が「日次」、「週次」、または「月次」に設定されている場合に存在します。	dayOfWeek
string	False	スケジュールを実行する曜日（0～7）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は<code>"^[0-7]\$</code>です。このフィールドは、粒度が「weekly」に設定されている場合にのみ存在します。	dayOfMonth
string	False	スケジュールを実行する月の日（1～31）を示す数値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^[1-9]</code>	<code>[1-2][0-9]</code>
<code>[3][0-1]\$</code> このフィールドは、粒度が「monthly」に設定されている場合にのみ存在します。	recurrenceRule	string	False

Name	を入力します	必須	説明
RFC-5545 セクション 3.8.5.3 を含む JSON 文字列。再帰ルール。DTSTART パラメータについては、UTC タイムスタンプ（末尾に「Z」が付く）のみがサポートされ、現在時刻より前のタイムスタンプのみがサポートされます。RECUR ルールパーツについては、「FREQ」と「INTERVAL」のみがサポートされています。FREQ ルールの部分では、「MINUTELY」と「HOURLY」のみがサポートされる値です。このフィールドは、粒度が「custom」に設定されている場合にのみ表示されます。	snapshotRetention	string	True
保持するスナップショットの数を示す正の数値を含むJSON文字列。ゼロは、バックアップ取得後にスナップショットを削除する必要があることを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • 定義された正規表現は次のとおりです： ："^([0-9][1-9]*))\$"	([1-9][0-9]*)\$"	backupRetention	string

Name	を入力します	必須	説明
True	保持するバックアップの数 を示す正の数値を含むJSON文字列。ゼロは、バックアップを作成しないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • 定義された正規表現は次のとおりです： ：<code>"^(0</code>	<code>([1-9][0-9]*)\$"</code>	bucketID
string	False	バックアップの作成時に保存する場所を示す、オプションのバケットIDを含むJSON文字列。指定がない場合は、システムが選択したバケットが使用されます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠	レプリケート
string	False	スケジュールが各スナップショットのAppMirrorレプリケーションをトリガーするかどうかを示すJSON文字列。アプリケーションにAppMirror関係が定義されている場合にのみ有効になります。定義された値は次のとおりです： • 「true」 - スケジュールがAppMirrorレプリケーションをトリガーします • 「false」 - スケジュールはAppMirrorレプリケーションをトリガーしません。指定しない場合、デフォルト値は「false」です。	メタデータ

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-schedule",
  "version": "1.3",
  "granularity": "daily",
  "minute": "0",
  "hour": "0",
  "snapshotRetention": "12",
  "backupRetention": "12"
}
```

応答

Status: 204, Indicates if the schedule resource was updated.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

スケジュールを削除する

DELETE /accounts/{account_id}/k8s/v1/apps/{app_id}/schedules/{schedule_id}

指定されたスケジュールAPIリソースを削除します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: <code>{{.Account}}</code>
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID
schedule_id	string	path (パス)	True	リストするスケジュールコレクションのID

応答

Status: 204, Indicates if the schedule resource was deleted.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

```
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。